



平成 21 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 21 年 1 月 9 日

上場会社名 古野電気株式会社 上場取引所 大証一部
 コード番号 6814 URL <http://www.furuno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 幸男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 井澤 亮三 TEL (0798)63-1017

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 2 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 20 年 11 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第3四半期	70,473	2.0	6,339	3.4	6,304	△3.0	3,657	3.7
20年2月期第3四半期	69,112	9.6	6,130	44.1	6,501	47.2	3,526	30.2
20年2月期	94,061	—	6,939	—	6,990	—	3,062	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第3四半期	115	92	—	—
20年2月期第3四半期	111	76	—	—
20年2月期	97	07	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21年2月期第3四半期	89,164		42,556		47.2	1,334	09	
20年2月期第3四半期	90,450		42,177		46.1	1,320	90	
20年2月期	90,652		41,347		45.0	1,293	55	

2. 平成 21 年 2 月期の連結業績予想 (平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 21 年 2 月 28 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	98,000	4.2	6,300	△9.2	6,300	△9.9	3,300	7.7	104	60

(注) 業績予想につきましては、平成 20 年 4 月 18 日発表の数値を変更していません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、2 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期の世界経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安が深刻さを増し、各地域とも急速に景気の悪化が進行しました。当社関連市場においては、船用電子機器分野では商船市場は世界的な海運需要を背景に新造船および換装の需要が高水準で推移しましたが、プレジャーボート市場は景気後退の影響で、主要市場である米国および欧州での需要が低迷しました。産業用電子機器分野でも、新車販売台数の減少などにより、GPS（全地球測位システム）を搭載するカーナビゲーションシステムなどの需要が落ち込みました。

このような状況の中、当四半期の連結売上高は、船用電子機器部門が商船市場向けを中心に販売好調を維持したことなどから 70,473 百万円（前年同期比 2.0%増）となりました。利益面では、売上総利益は 25,054 百万円（前年同期比 5.9%増）となり、営業利益は 6,339 百万円（前年同期比 3.4%増）となりました。一方で、営業外収支は為替差損が発生したため、前期から 404 百万円悪化しました。この結果、経常利益は 6,304 百万円（前年同期比 3.0%減）、当期純利益は 3,657 百万円（前年同期比 3.7%増）となりました。

各部門別売上高の概況としましては、船用電子機器部門では、商船市場向け売上が全世界的に好調に推移し、衝突予防レーダーや衛星通信装置などを中心に売上が増加しました。漁業市場向け売上は微減となりましたが、プレジャーボート市場向けは市場が低迷する中、当社は競争力の高い新製品 NavNet 3D が好調であり、売上は増加しました。これらにより同部門の売上高は、56,467 百万円（前年同期比 4.3%増）となりました。一方、産業用電子機器部門では、ETC 車載器および医療用機器の販売が低調であったことに加えて、GPS 関連機器もカーナビゲーション向けなどの売上が伸び悩んだことにより、同部門の売上高は 14,006 百万円（前年同期比 6.4%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産

総資産は、前連結会計年度末と比較して 1,488 百万円減少し、89,164 百万円となりました。これは主に現金及び預金が 2,409 百万円、受取手形及び売掛金が 1,850 百万円、投資その他の資産が 1,345 百万円減少し、たな卸資産が 3,772 百万円増加したことによるものであります。

(2) 負債

負債合計は、前連結会計年度末と比較して 2,696 百万円減少し、46,608 百万円となりました。これは主に短期借入金で 2,500 百万円減少したことによるものであります。

(3) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して 1,208 百万円増加し、42,556 百万円となりました。これは主に利益剰余金が 3,485 百万円増加し、為替換算調整勘定が 1,537 百万円減少したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、経済情勢および為替環境の見通しがきわめて不透明な状況にあることから、平成 20 年 4 月 18 日付の「平成 20 年 2 月決算短信」発表時に公表しました業績予想から変更いたしておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準及び税金費用の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。影響額が僅少なものにつきましては、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円，%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成20年2月期 第3四半期末〕	〔平成21年2月期 第3四半期末〕	金 額	増減率	(平成20年2月期末) 金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	16,273	15,070	△1,203	△7.4	17,479
受取手形及び売掛金	23,078	22,973	△105	△0.5	24,824
たな卸資産	23,276	25,944	2,667	11.5	22,172
その他	5,531	5,636	104	1.9	5,077
流動資産合計	68,160	69,624	1,464	2.1	69,553
II 固定資産					
有形固定資産	10,223	10,130	△92	△0.9	10,320
無形固定資産	1,135	1,154	18	1.7	1,178
投資その他の資産	10,931	8,254	△2,676	△24.5	9,600
固定資産合計	22,290	19,539	△2,750	△12.3	21,098
資産合計	90,450	89,164	△1,286	△1.4	90,652
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	20,058	18,828	△1,230	△6.1	18,700
短期借入金	6,000	5,000	△1,000	△16.7	7,500
一年以内返済予定長期借入金	1,322	136	△1,185	△89.7	495
その他	8,027	10,395	2,368	29.5	9,301
流動負債合計	35,408	34,360	△1,047	△3.0	35,997
II 固定負債					
社債	394	130	△264	△67.0	262
長期借入金	2,723	3,429	706	25.9	3,519
その他	9,747	8,688	△1,059	△10.9	9,524
固定負債合計	12,865	12,247	△617	△4.8	13,306
負債合計	48,273	46,608	△1,665	△3.4	49,304
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	7,534	7,534	—	—	7,534
資本剰余金	10,073	10,074	1	0.0	10,073
利益剰余金	22,278	25,300	3,022	13.6	21,815
自己株式	△172	△177	△5	—	△173
株主資本合計	39,713	42,732	3,018	7.6	39,248
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	912	120	△792	△86.8	782
繰延ヘッジ損益	△0	△11	△11	—	△4
為替換算調整勘定	1,049	△752	△1,802	—	784
評価・換算差額等合計	1,961	△643	△2,605	—	1,562
III 少数株主持分	501	467	△33	△6.8	536
純資産合計	42,177	42,556	378	0.9	41,347
負債，純資産合計	90,450	89,164	△1,286	△1.4	90,652

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円，%)

科 目	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考) 前期
	〔平成 20 年 2 月期〕 第 3 四半期	〔平成 21 年 2 月期〕 第 3 四半期	金 額	増減率	(平成 20 年 2 月期) 金 額
I 売上高	69,112	70,473	1,361	2.0	94,061
II 売上原価	45,444	45,418	△25	△0.1	62,798
売上総利益	23,668	25,054	1,386	5.9	31,263
III 販売費及び一般管理費	17,537	18,715	1,178	6.7	24,323
営業利益	6,130	6,339	208	3.4	6,939
IV 営業外収益	778	707	△71	△9.2	1,024
受取利息及び配当金	439	328	△111	△25.4	558
その他	338	378	40	11.8	465
V 営業外費用	408	741	333	81.6	973
支払利息	138	107	△31	△22.4	185
その他	269	634	364	135.0	787
経常利益	6,501	6,304	△196	△3.0	6,990
VI 特別利益	46	193	146	313.1	61
VII 特別損失	596	549	△46	△7.9	809
税金等調整前 四半期(当期)純利益	5,951	5,948	△3	△0.1	6,242
税金費用	2,353	2,218	△135	△5.7	3,081
少数株主利益	72	73	1	1.6	97
四半期(当期) 純利益	3,526	3,657	130	3.7	3,062